

歴史探訪

クラブ! 其の149

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局3635
FAX 22局3811

田戸神社の気になるもの

小中山町にある歴史遺産は、戦争遺跡の陸軍技術研究所伊良湖試験場が有名です。この試験場の入り口と並んで、田戸神社があります。六所神社とともに、10月に「かあか祭り」が行われる神社です。また、「いぼ」取り祈願の由緒ある神社でもあります。

この神社の参道には、木製の鳥居がなんと80mも続いています。この鳥居には、奉納年月日や奉納者の名前が墨書きされています。木製の鳥居が立ち並ぶ参道の空間は、これか



▲酒井孫兵衛の狛犬

も良いものです。台座には昭和4年6月の奉納者の名前と、狛犬を彫った石工の名前「酒井孫兵衛」が記されています。酒

しい狛犬から、たてがみのある、雄雄しく筋骨隆々の狛犬の作風を築いています。

田戸神社で気になるもうひとつは参道入り口付近の灯籠です。セメントで作られ、表面を石洗い出しで作っています。以前にも紹介したとおり、明治終わりから昭和初期には、セメントこそ最新・最強の素材とされていましたので、当時としてはしゃれた灯籠だったのでしょう。

どちらも同じ昭和4年のもの。かたや伝統的な花崗岩で作られた近代的な作風の作品、かたや最新の素材で作られた伝統的な造形。この対比が面白いですね。

(増山)

ら神に祈りを捧げるための心を整えるには十分な距離と雰囲気です。そして、鳥居を抜けると拝殿が見えてきます。切妻屋根の質素な造りは古い様式を伝え、この神々しさに、思わず頭を下げ、手を合わせてしまいました。

この神社で気になるものがふたつ。ひとつは花崗岩製の狛犬です。神社の拝殿前に、阿吽

の呼吸の語源となった「口を開いたもの」「閉じたもの」が一對となつて置かれています。ここの狛犬は、顔も胴体の彫り



▲セメント製の灯籠

井孫兵衛は、江戸時代から、岡崎から8代続いた狛犬製作の石工で、年号から7代目の作品と思われる。酒井孫兵衛作の狛犬は、市内には畠神社にもあります。こちらは正徳8年9月の銘があり、先代の孫兵衛の作品と思われる。6代目の孫兵衛は、これまでのふくらとしたかわいら

今月の「表紙」

▼暑さをしのぐ方法はいくつありますか？避暑地を求めてお出かけしてみるのは健康の一つです。森の中の木陰はとて涼しく感じます。木々の合間から差し込む木漏れ日にも涼しさがあり、なぜかぬくもりを感じます。まだまだ暑い日が続くような今年の夏。外出の際は、こまめに水分補給をし、熱中症などにはくれぐれも注意しましょう。(I)

【表紙の写真】赤羽根文化の森